

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-143087

(43)Date of publication of application : 04.06.1996

---

(51)Int.Cl. B65D 85/57  
G11B 23/03

---

(21)Application number : 06-305479 (71)Applicant : KATAYAMA NOBORU

(22)Date of filing : 14.11.1994 (72)Inventor : KATAYAMA NOBORU

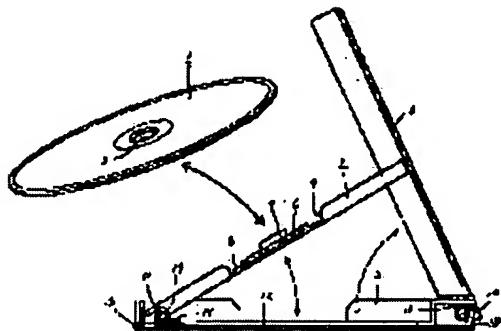
---

## (54) CASE FOR RECORDING MEDIUM

### (57)Abstract:

PURPOSE: To avoid such a conventional inconvenience that a recording medium is stained on the recording surface or fallen down when it is taken out of a case, and easily and safely put the recording medium in and out of the case.

CONSTITUTION: A recording medium case consists of an inner case 2 to contain a flat plate type recording medium 1, an outer case 3 to contain the inner case 2 and a openable lid 4 that covers an opening of the outer case 3 thorough which the recording medium 1 is taken in and out. The inner case 2 is mounted on a pin 11 provided on the inside of the outer case 3 so that it can be freely taken in and out. When the lid 4 is opened, the inner case 2 turns on the pin 11 and escapes outside the outer case 3.



---

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.11.1994

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2727064

[Date of registration] 12.12.1997

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right] 12.12.2000

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

S05P0278

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 特許公報 (B2)

(11)特許番号

第2727064号

(45)発行日 平成10年(1998)3月11日

(24)登録日 平成9年(1997)12月12日

(51)Int.Cl. <sup>®</sup> B 6 5 D 85/57 G 1 1 B 23/03	識別記号 6 0 1	序内整理番号 F I B 6 5 D 85/57 G 1 1 B 23/03	技術表示箇所 C 6 0 1 A
--	---------------	---	------------------------

請求項の数1(全6頁)

(21)出願番号 特願平6-305479	(73)特許権者 片山 昇 大阪府東大阪市長瀬町3丁目2番31棟 501号
(22)出願日 平成6年(1994)11月14日	(72)発明者 片山 昇 大阪府東大阪市長瀬町3丁目2番31棟 501号
(65)公開番号 特開平8-143087	(74)代理人 弁理士 藤原 忠治
(43)公開日 平成8年(1996)6月4日	審査官 加藤 昌人
	(56)参考文献 実開 昭58-101370 (JP, U) 実開 平4-89787 (JP, U) 実開 平5-13985 (JP, U) 実開 昭62-78687 (JP, U) 実開 昭62-78691 (JP, U)

(54)【発明の名称】記録担体用ケース

1

## (57)【特許請求の範囲】

【請求項1】平板形記録担体(1)を収納させる中ケース(2)と、該中ケース(2)を収納させる外ケース(3)と、該外ケース(3)の記録担体出入用開放部を閉塞する開閉自在な蓋(4)を備える記録担体用ケースにおいて、外ケース(3)の対向縁部に蓋(4)及び中ケース(2)の各基端を起伏自在に取付ける2つの軸体(10)(11)を設けると共に、一方の軸体(10)を中心として回動させる蓋(4)の起立開放に連動して他方の軸体(11)を中心の中ケース(2)を蓋(4)の回動方向とは逆方向に回動して外ケース(3)より蓋(4)の開放力で起立させる強制起立用のレバー部材(12)(20)を設けたことを特徴とする記録担体用ケース。

## 【発明の詳細な説明】

2

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明はコンパクトディスクまたはビデオディスクまたはレコード盤等を平板形記録担体を収納保管する記録担体用ケースに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、開閉自在な蓋を有する外ケース内部に中ケースを固定させ、コンパクトディスクを中ケース内部に入出自在に収納していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のように中ケースが固定されている場合、中ケースに対してコンパクトディスクを係合させ、収納時にコンパクトディスクが中ケース内部で移動するのを防ぐことにより、コンパクトディスクを係合力に抗して取出す大きな操作力を必要とし、しかも手で握るコンパクトディスクの非記録部分

(外周部) の露出が少ないので、コンパクトディスクを中ケースから取出すとき、コンパクトディスクの記録面に指が接触して汚れたり、コンパクトディスクを落下させて損傷させ易い等の不具合があった。

#### 【0004】

【課題を解決するための手段】然るに、本発明は、平板形記録担体を収納させる中ケースと、該中ケースを収納させる外ケースと、該外ケースの記録担体出入用開放部を閉塞する開閉自在な蓋を備える記録担体用ケースにおいて、外ケースの対向縁部に蓋及び中ケースの各基端を起伏自在に取付ける2つの軸体を設けると共に、一方の軸体を中心として回動させる蓋の起立開放に連動して他方の軸体を中心に中ケースを蓋の回動方向とは逆方向に回動して外ケースより蓋の開放力で起立させる強制起立用のレバー部材を設けたもので、蓋の開放操作を行うとき中ケースを自動的に起立させて、記録担体の非記録部分の露出を多くして、記録担体の非記録部分を手で握って取出す操作を容易なものとさせて、記録担体の取出し毎に記録面を汚したり落下させるなどの従来の不具合をなくして、記録担体の安全にして良好な保管やこの取出しを可能とせるもので、特にこの場合各別に設ける2つの軸体を中心として、蓋の開放時にあっては蓋の開放方向とは反対側方向に中ケースを自動的に起立、つまり蓋を取扱者より離れた位置の向こう側に開放するとき、中ケースは逆に近接位置の手前側に自動的に起立して、記録担体の取扱い操作を蓋を邪魔とさせることなく、極めて容易にして安全性に秀れたものとすることができるものである。

#### 【0005】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳述する。図1は断面側面図、図2は平面図、図3は拡大平面図であり、平板形記録担体であるコンパクトディスク(1)を収納させる合成樹脂製中ケース(2)と、該中ケース(2)を収納させる合成樹脂製外ケース(3)と、該外ケース(3)の記録担体出入用開放上面部を閉塞する開閉自在な合成樹脂製蓋(4)を備えるもので、前記コンパクトディスク(1)の略中央部にターンテーブル用嵌合孔(5)を形成している。また、前記ディスク(1)を載せる載せ台(6)と、前記嵌合孔(5)に着脱自在に弾圧係合させる係止頭(7)を、前記中ケース(2)のディスク収納凹部(8)中央位置に一体形成すると共に、中ケース(2)両側に切欠(9)を形成し、載せ台(6)上のディスク(1)の非記録外周部をディスク収納凹部(8)外方に前記切欠(9)を介して突出させ、ディスク(1)を手で握って持上げるとき、前記切欠(9)外側のディスク(1)非記録外周部に指を当て、前記嵌合孔(5)と係止頭(7)の係合力に抗してディスク(1)をディスク収納凹部(8)上方に引上げ、中ケース(2)からディスク(1)を取出すように構成している。

【0006】また、前記蓋(4)に軸体(10)を一体形成し、該軸体(10)を外ケース(3)側壁に回転自在に挿通させ、軸体(10)を支点にして回転自在に蓋(4)を外ケース(3)後部に取付け、外ケース(3)後側上方に蓋(4)を開動させると共に、前記中ケース(2)に軸体(11)を一体形成し、該軸体(11)を外ケース(3)側壁に回転自在に挿通させ、軸体(11)を支点にして回転自在に中ケース(2)を外ケース(3)前部に取付け、外ケース(3)前側上方に中ケース(2)を開動させ、中ケース(2)の起立によってディスク(1)を外ケース(3)前面側に向けて外ケース(3)上方に持上げ支持するよう構成している。

【0007】さらに、図4乃至図7にも示す如く、前記外ケース(3)の底部上面に合成樹脂製スライドレバー(12)を設け、外ケース(3)に一体形成するピン(13)…をスライドレバー(12)の長孔(14)…に挿入させ、複数組のピン(13)…及び長孔(14)…によってスライドレバー(12)を外ケース(3)に往復摺動自在に取付け、前記スライドレバー(12)を外ケース(3)前面外方に突出させて押ボタン(15)を一体形成し、押ボタン(15)押操作によってスライドレバー(12)を退入させると共に、前記スライドレバー(12)の前後端部にラックギヤ(16)(17)を形成し、各ラックギヤ(16)(17)に噛合させるピニオンギヤ(18)(19)を前記各軸体(10)(11)軸芯上に一体形成している。

【0008】そして、前記押ボタン(15)押操作によって退入させるスライドレバー(12)の往動作により、各ギヤ(16)(18)を介して軸体(10)回りに蓋(4)を回転させて起立させ、また各ギヤ(17)(19)を介して軸体(11)回りに中ケース(2)を回転させて起立させ、中ケース(2)の切欠(9)から突出するディスク(1)外周部に指を当て易い位置に中ケース(2)を持上げ、ディスク(1)をディスク収納凹部(8)に取出すと共に、中ケース(2)及び蓋(4)を押下げる操作を行うことにより、スライドレバー(12)が復動作して外ケース(3)内部に中ケース(2)が収納され、外ケース(3)上面開放部が蓋(4)によって閉塞されるので、外ケース(3)の内外に中ケース(2)を出入自在に取付ける軸体(11)を設け、蓋(4)の開放操作によって前記軸体(11)を支点に中ケース(2)が移動して外ケース(3)外側に中ケース(2)が脱出するよう構成している。また、前記押ボタン(15)を押し始めたときに、各ギヤ(16)(18)動作によって蓋(4)の上方回動を開始させ、前記押ボタン(15)をさらに押したときに、各ギヤ(17)(19)動作によって中ケース(3)の上方回動を開始させ、中ケース(3)の上方回動を遅れて行わせることにより、蓋(4)の回動角度を中ケース(3)よりも大きくし、中ケース(3)後部上面が蓋

(4) 内面に接当するのを防いでいる。なお、各ギヤ (16) (18) を省いて中ケース (3) の上方回動により中ケース (3) によって蓋 (4) を押し上げて上方回動させることも行えると共に、各ギヤ (16) (17) (18) (19) に代えてくさび形カムをスライドレバー (12) に形成し、レバー (12) のカム動作によつて中ケース (3) 及び蓋 (4) の一方または両方を上方回動させることも行える。

【0009】さらに、図8は変形例を示すもので、中ケース (2) 下方に下方から当接させる引起アーム (20) を備え、蓋 (4) に一体形成する軸 (21) を介して前記アーム (20) 一端側を回転自在に軸支せると共に、軸 (21) 回りのアーム (20) の下方回転を規制するストッパ (22) を蓋 (4) に一体形成し、蓋 (4) の開放操作により軸体 (10) 回りに蓋 (4) を上方回動させると、ストッパ (22) に支持されるアーム (20) によって中ケース (2) が持上げられ、軸体 (11) 回りに中ケース (2) が上方回動するもので、上記実施例と同様にディスク (1) の出入を行える。

#### 【0010】

【発明の効果】以上実施例から明らかなように本発明は、平板形記録担体 (1) を収納させる中ケース (2) と、該中ケース (2) を収納させる外ケース (3) と、該外ケース (3) の記録担体出入用開放部を閉塞する開閉自在な蓋 (4) を備える記録担体用ケースにおいて、外ケース (3) の対向縁部に蓋 (4) 及び中ケース (2) の各基端を起伏自在に取付ける2つの軸体 (10) (11) を設けると共に、一方の軸体 (10)を中心として回動させる蓋 (4) の起立開放に連動して他方の軸体 (11) を中心に中ケース (2) を蓋 (4) の回動方向とは逆方向に回動して外ケース (3) より蓋

#### (4) の開放力で起立させる強制起立用のレバ一部材

(12) (20) を設けたもので、蓋 (4) の開放操作を行うとき中ケース (2) を自動的に起立させて、記録担体 (1) の非記録部分の露出を多くして、記録担体 (1) の非記録部分を手で握って取出す操作を容易なものとさせて、記録担体 (1) の取出し毎に記録面を汚したり落下させるなどの従来の不具合をなくして、記録担体 (1) の安全にして良好な保管やこの取出しを可能とするもので、特にこの場合各別に設ける2つの軸体

10

(10) (11)を中心として、蓋 (4) の開放時にあっては蓋 (4) の開放方向とは反対側方向に中ケースを自動的に起立、つまり蓋 (4) を取扱者より離れた位置の向こう側に開放するとき、中ケース (2) は逆に近接位置の手前側に自動的に起立して、記録担体 (1) の取扱い操作を蓋を邪魔とさせることなく、極めて容易にして安全性に秀れたものとすることができるものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】断面側面図。

【図2】平面図。

【図3】拡大平面図。

【図4】スライドレバ一部の平面図。

【図5】同拡大側面図。

【図6】同拡大平面図。

【図7】同拡大平面図。

【図8】他の実施例を示す側面図。

#### 【符号の説明】

(1) コンパクトディスク (記録担体)

(2) 中ケース

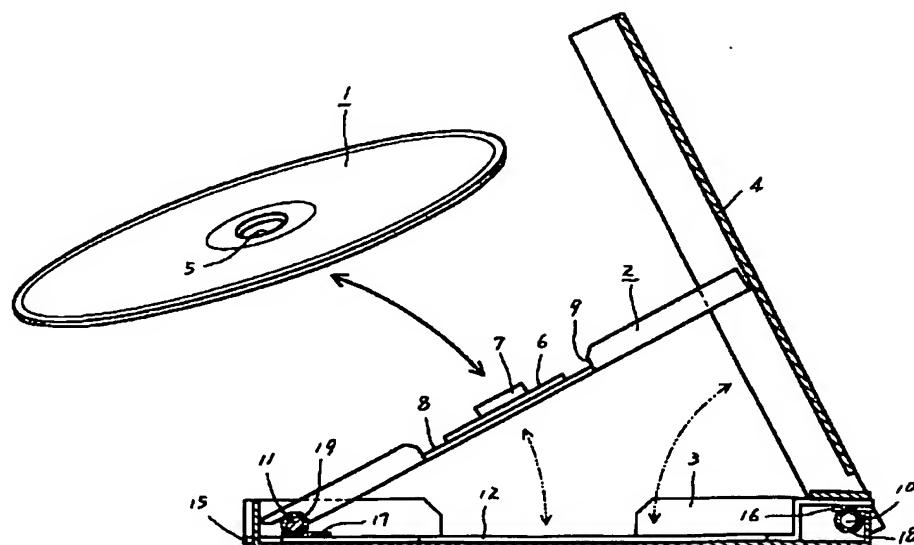
(3) 外ケース

(4) 蓋

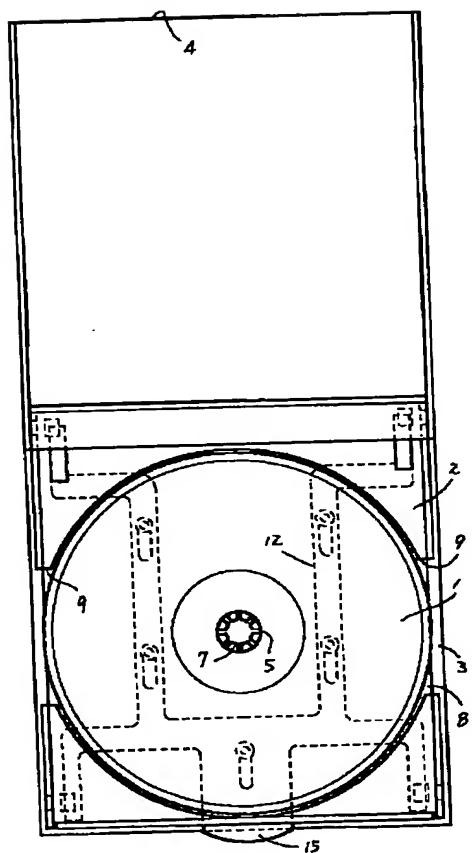
30

(11) 軸体

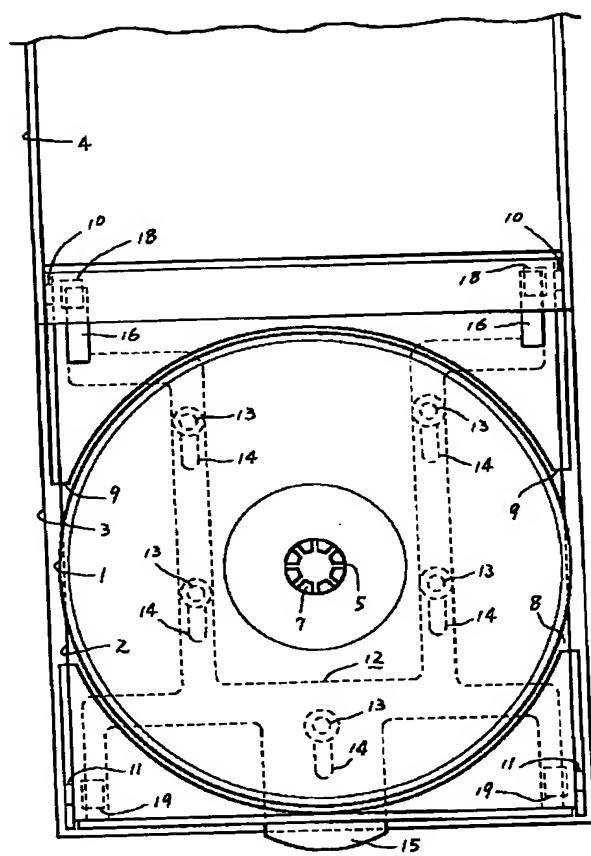
【図1】



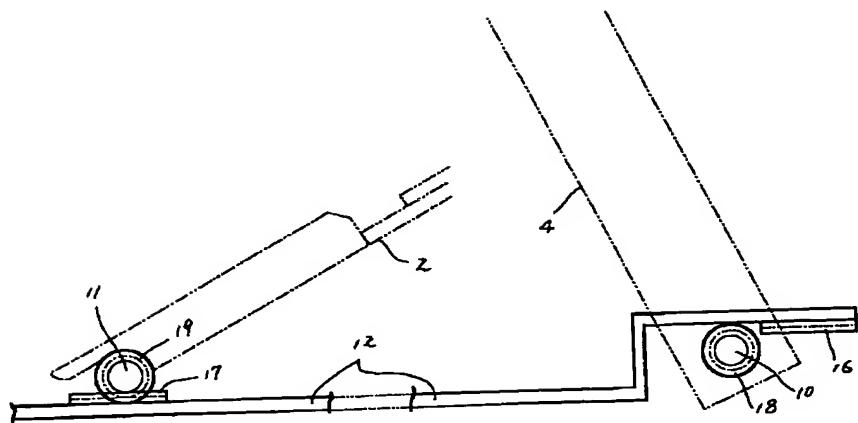
【図2】



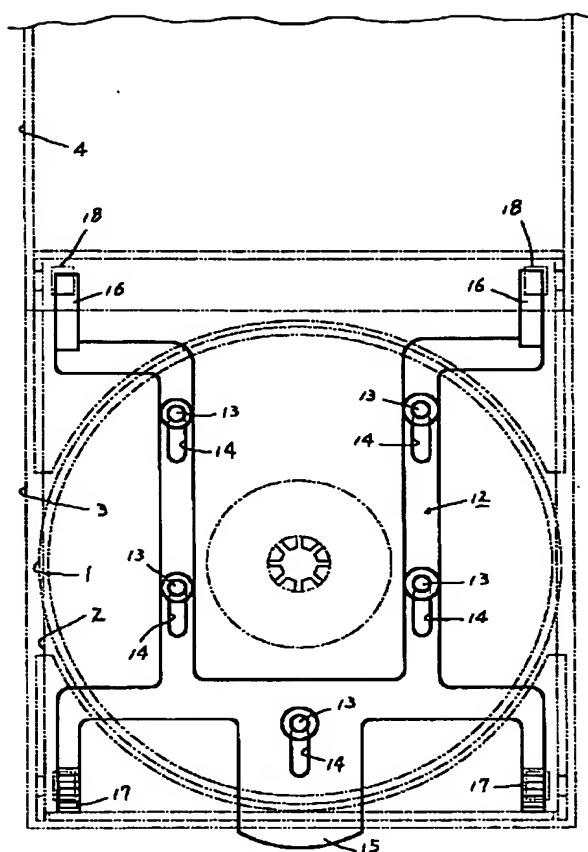
【図3】



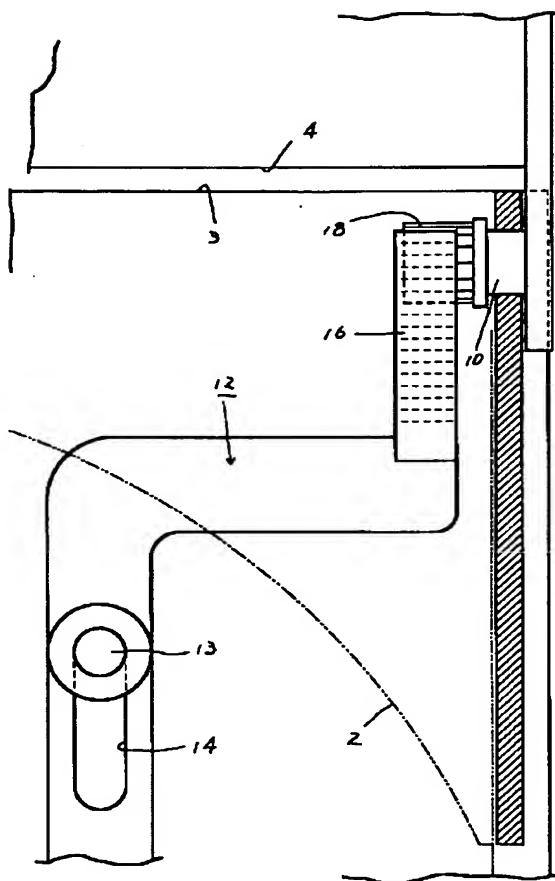
【図5】



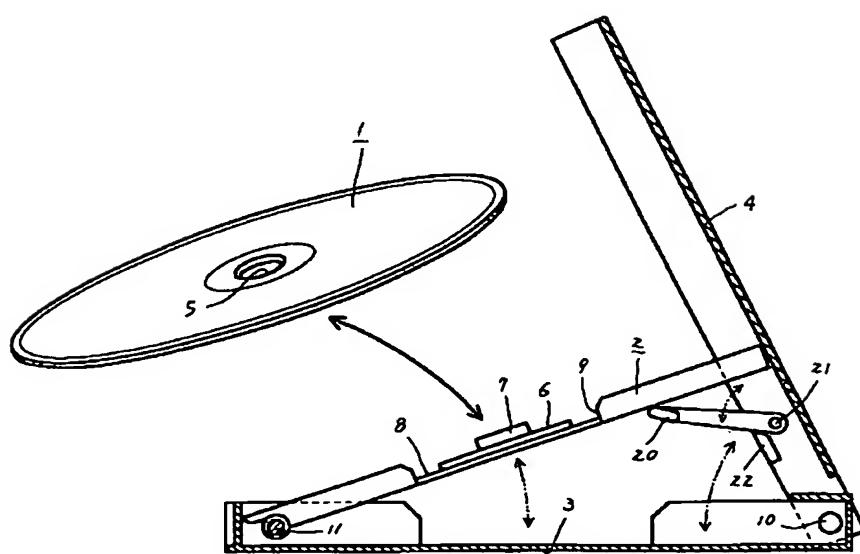
【図4】



【図6】



【図8】



【図7】

